

Title	中小企業の事業転換の障害 - 飲食業における事業転換の成功と失敗の要因 -
Sub Title	
Author	伊藤克栄(Itou, Katsuei) 村井俊雄
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1982
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001982-0184">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001982-0184</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

伊藤 克栄

主査 村井 俊雄

副査 藤枝 省人

所属ゼミナール 鈴木 貞彦 研

鈴木 貞彦

## 中小企業の事業転換の障害 — 飲食業における事業転換の成功と失敗の要因 —

本論文の目的は、中小企業の事業転換の成功と失敗の要因について、これまで研究の対象とならなかった飲食業において考察することである。本論文は全体が5章から成る。第1章の序論では、問題の提起を行い、これまでの製造業を研究対象の中心としてきた点と今後、三次産業を中心とした研究の必要性を指摘した。次に、研究方法とその限界、そして全体の要約を述べている。

第2章はこれまでの文献の研究を行い本論文のガイドラインとしての仮説の構築の前段階とした。多くの文献から代表的な三つの文献の研究を行った。これらの文献の指摘する中小企業の事業転換の成功と失敗の要因の比較検討を行った。

第3章では、本論文の研究方法の説明を行い、ガイドラインとしての仮説の構築を第2章の文献研究の結果と飲食業の業種の特性を考えあわせて飲食業における中小企業の事業転換の成功と失敗の要因についての仮説の構築を行った。

次に第4章では、第3章で構築したガイドラインとしての仮説をある飲食業における企業の事例を通して検討する。この章の初めに事例研究の対象となった企業の概略を述べている。

最後の第5章では、第4章のガイドラインとしての仮説の検討の結果をまとめ、次に、飲食業における中小企業の事業転換について述べ、さらに、事例の評価ならびに今後の対策を提案し最後に事業転換の研究の今後の課題を示した。